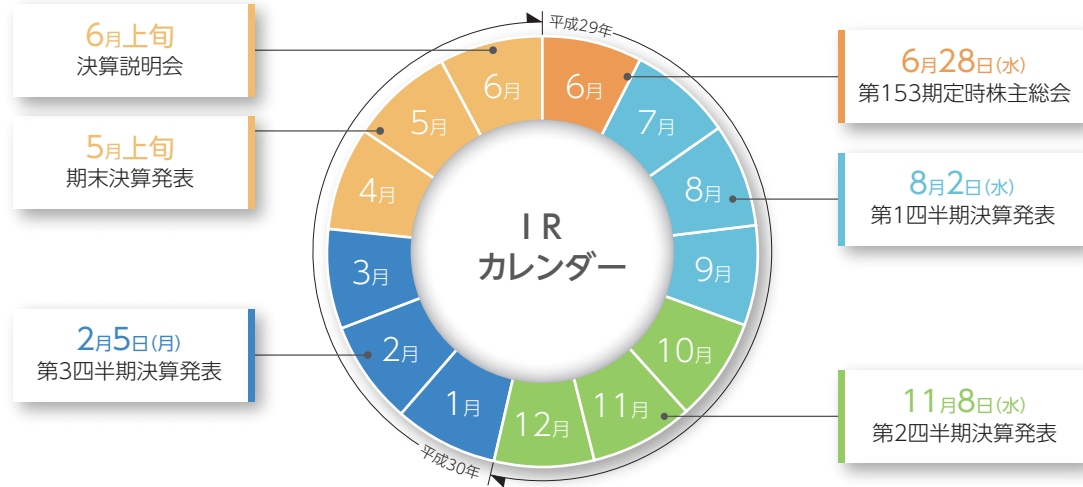


株主のみなさまへ

第153期 報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

証券コード | 6622



ホームページ案内

IR・決算情報はホームページで公開しています。ぜひご覧ください。

トップページ



<http://www.daihen.co.jp/>

IRページ



<http://www.daihen.co.jp/ir/>

お客様に喜んでいただき、世の中のお役に立つため、 「ダイヘンならではの製品価値」の創出に注力してまいります。

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、ダイヘングループ第153期の報告書をお届けいたします。



代表取締役社長

田尻 哲也

事業の経過及びその成果

当連結会計年度のダイヘングループを取り巻く経営環境は、年度前半はアジア新興国経済が低調に推移しましたが、年度後半には半導体関連投資が急速に拡大する他、中国での自動化投資の回復が顕著になりました。

このような状況の下、中期経営計画“DAIHEN Value 2017”に基づき、世界初・業界初の機能を備えた「ダイヘンならではの製品」の開発・市場投入に注力いたしました結果、受注高は1,458億1千2百万円(前期比8.1%増)、売上高につきましても1,348億7千万円(前期比2.8%増)となりました。利益面におきましては、生産自動化や間接業務削減など「ロスカット活動」の取り組み強化に努めましたものの、円高の影響が大きく、営業利益は87億5百万円(前期比6億2千4百万円減)、経常利益は88億7千9百万円(前期比3億5千1百万円減)となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前期に中国電機製造株式会社の子会社化に伴い負ののれん発生益を特別利益として計上していたこともあり、62億5千2百万円(前期比9億6千8百万円減)となりました。

設備投資の状況

当連結会計年度の設備投資につきましては、生産自動化関連投資や耐震補強工事などに84億1千2百万円実施いたしました。

資金調達の状況

当連結会計年度の資金調達につきましては、経常的な運転資金を金融機関からの短期及び長期借入金にて調達しておりますが、特筆すべき重要な事項はございません。

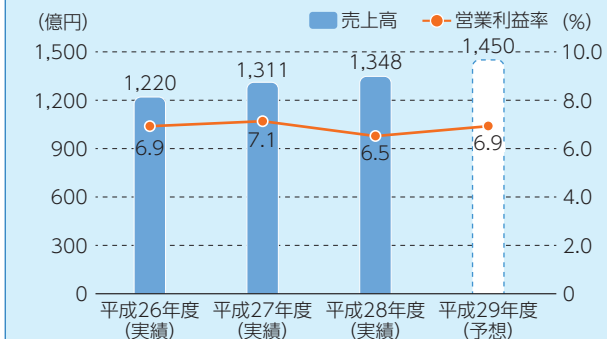
対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、自国第一主義の進展など不透明感がありますものの、引き続き「ロスカット活動」による生産性向上・コスト水準の引き下げを実現し、「ダイヘンならではの製品価値」を創出するための開発投資に振り向けていくことにより、各事業の強化、業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解・ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成29年6月

◇売上高・営業利益率の推移



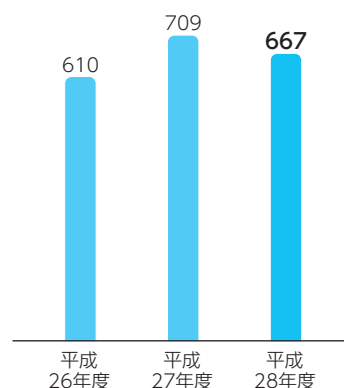
電力機器事業



売上高構成比
49.5%

営業概況

売上高（億円）



電力機器事業では、無電柱化進展や大形変圧器更新需要の増加が予想される中、コンパクト・低コストな地中化対応機器や大幅な保守コスト低減を実現する変電所用変圧器などの製品開発に取り組むとともに、独自の制御技術を用いたFEMS関連製品の拡充を進めてまいりました。しかしながら、太陽光発電関連の需要が減少したことにより、電力機器事業全体の受注高は712億1千万円(前期比6.9%減)、売上高は667億2千3百万円(前期比5.9%減)、営業利益は55億4千7百万円(前期比12億4千5百万円減)となりました。

事業紹介

ダイヘンの原点である電力機器。国内で電力の利用が進んだ大正時代、当社は柱上変圧器のメーカーとして誕生しました。以来、変圧器のトップメーカーとして、信頼性に優れた機器を数多く供給。社会で欠かすことのできない電力の安定供給に大きく貢献してきました。現在では、省資源・省エネルギーや環境調和といった社会の要請に応える機器の開発にも積極的に取り組み、電力を安全かつ確実にお届

けするとともに、より良い環境づくりに役立つ製品を開発しています。



太陽光発電 蓄電池搭載 変電設備パッケージ
[DISOLA POWER STORAGE PACK]

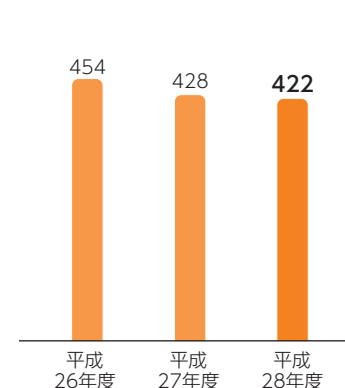
溶接メカトロ事業



売上高構成比
31.3%

営業概況

売上高（億円）



溶接メカトロ事業では、圧倒的な溶接品質で好評の「シンクロフィードGMA溶接システム」の拡販を進めるとともに、総合FAメーカーとして各種ロボットアプリケーションの充実に取り組みました。その結果、日本・中国での販売は増加いたしました。前年度高水準であった韓国・東南アジアでの自動車関連投資に不服感が見られたことから、受注高は423億7百万円(前期比1.9%増)、売上高は422億6千5百万円(前期比1.3%減)で、ほぼ前期並みの水準となりました。営業利益につきましては、円高の影響が大きく33億4百万円(前期比14億7千8百万円減)となりました。

事業紹介

現代のものづくりに不可欠な要素技術の一つである溶接技術。自動車や列車、船舶、さらには橋梁や鉄塔などの大型構造物に至るまで、溶接技術が重要な役割を果たしています。ダイヘンは独自の溶接制御技術を駆使し、生産現場のニーズに応える溶接機を提供してきました。また、溶接技術とメカトロニクスの融合を図り、溶接ロボットを開発。世界のトップメーカーとして溶接加工の自動化を進め、

グローバルに展開するお客様の生産性や品質の向上に貢献しています。



アーク溶接ロボットパッケージ
[アルメガプレミアム・フレンドリーシリーズ]

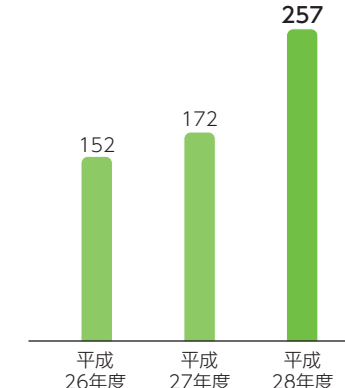
半導体関連機器事業



売上高構成比
19.1%

営業概況

売上高（億円）



半導体関連機器事業では、3次元メモリーやロジック系の設備投資が急速に拡大する中、半導体の微細加工で必要とされる高速整合機能を搭載した高周波電源システムの早期開発・市場投入を進めました。その結果、受注高は320億9千3百万円(前期比91.8%増)、売上高は257億3千3百万円(前期比49.0%増)、営業利益は32億2千万円(前期比18億2千万円増)と大幅に増加いたしました。

事業紹介

現代の暮らしを豊かに彩る液晶テレビやスマートフォン、タブレット機器。これらの重要部品である半導体デバイスやフラットパネルディスプレイの製造現場で、ダイヘンのプラズマ発生用電源やクリーン搬送ロボットが活躍しています。世界中の工場で、365日24時間フル稼働の生

産ラインを実現するため、当社の先進技術が役立っています。



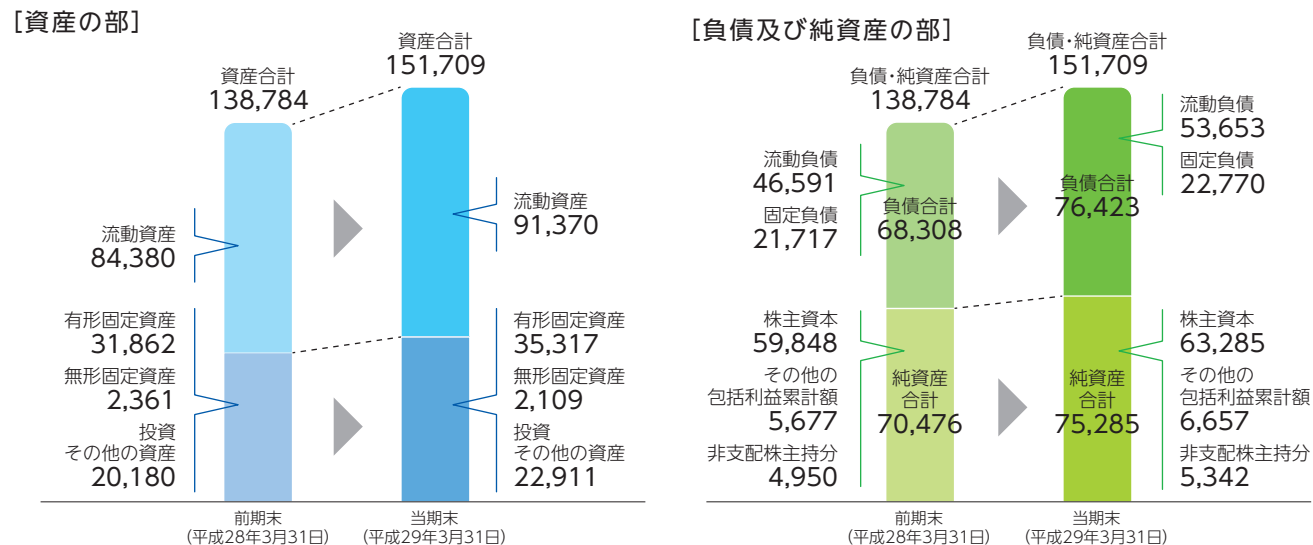
ウエハ搬送ロボット
[ACTRANSシリーズ]



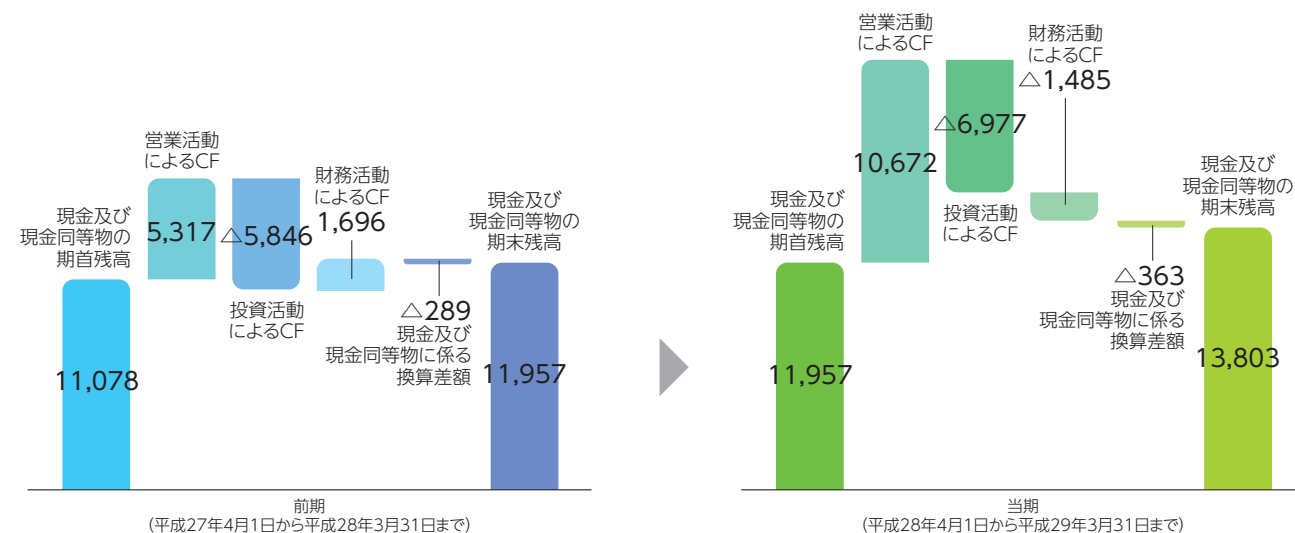
高周波電源
[AVANCERシリーズ]

その他の事業といたしましては、売上高は2億円、営業利益は9千1百万円となり、前からの大きな変動はありません。

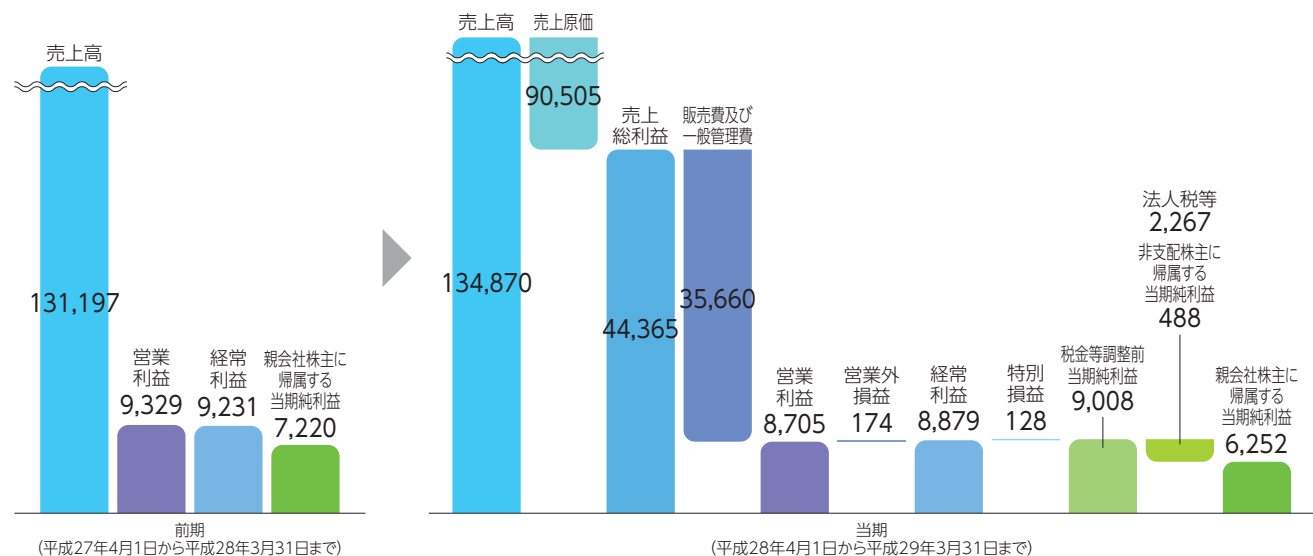
◆連結貸借対照表の概要 (百万円)



◆連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



◆連結損益計算書の概要 (百万円)

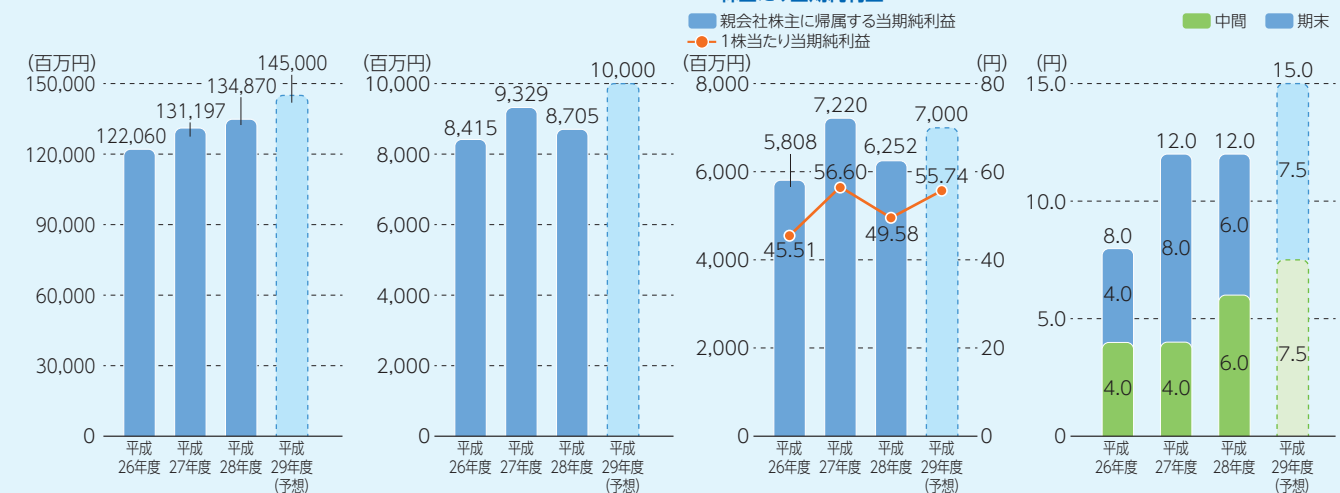


◇売上高

◇営業利益

◇親会社株主に帰属する当期純利益/1株当たり当期純利益

◇配当



1

Topics

バーチャルパワープラント構築に向けた実証試験開始

複数拠点の発電・蓄電設備をあたかも1つの発電所とみなし、エネルギーの需給バランスを最適化するバーチャルパワープラント（以下、VPP）を低コストで簡単に構築する自律分散協調制御技術「Synergy Link[®]」を開発いたしました。

この「Synergy Link」を用い、自社の2拠点（十三事業所、ダイヘンテック㈱）に設置した太陽光発電および蓄電池システムでVPPを構成し、実証データの蓄積を開始いたしました。その様子は多くのお客様にご覧いただいております。



十三事業所(大阪市)



ダイヘンテック㈱(大分県杵築市)

Synergy Link

※「Synergy Link」とは

従来型の「集中管理制御」のように高額な中央管理制御装置を使用することなく、上位系装置（例えばクラウドシステム）からシステム全体の出力合計値を目標値に誘導するだけで自律的に出力値を決定し、最適な出力状態へと導くことができる世界初の制御技術です。

2

Topics

シンクロフィードGMA溶接システム

—亜鉛メッキ鋼板やアルミ材に適用—

圧倒的な低スパッタで好評の本製品のラインアップを拡大いたしました。高電流域（300A）での長時間使用の実現に加え、亜鉛メッキ鋼板やアルミ材にも適用し、様々な業界のニーズにお応えしていきます。



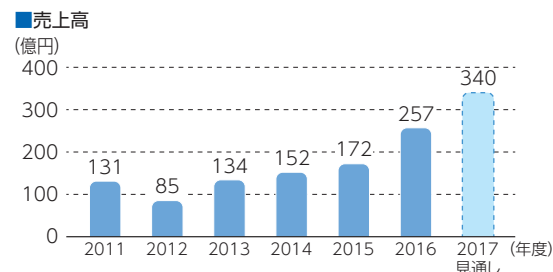
3

Topics

半導体関連機器の業績が急拡大

IoT・ビッグデータの進展に伴い、データセンター向け3次元メモリーの需要が急激に拡大し、2016年度の半導体関連機器の売上高は前年比1.5倍の257億円となりました。

2017年度の売上高は340億円にまで拡大する見通しで、生産体制強化を進めております。



4

Topics

溶接・ロボット事業の海外テクニカルセンター充実

欧州 ドイツ南部ミュンヘンで
新販売拠点の活動開始(2016年11月)

自動車関連メーカーが集中するドイツ南部ミュンヘンに大規模テクニカルセンターを備えた新販売拠点を開設いたしました。2014年2月に買収したバストロイ社（スロベニア共和国）との連携を強め、欧州での事業拡大を加速していきます。



中国 武漢市に日系ロボットメーカー初の
本格的テクニカルセンター開設(2017年2月)

自動車産業の拡大が続く中国において、天津市、広州市、上海市に続き武漢市に日系ロボットメーカーとして初めて本格的なテクニカルセンターを設置しました。



5

Topics

生産自動化の取り組みを“点から線”に拡大

生産自動化は設備単体の自動化だけでなく、前後工程を含めたライン全体の自動化を全生産拠点で進めています。

特に、「ロボットがロボットを作る」がコンセプトの六甲事業所ロボット組立ラインではAI自動搬送ロボットなど自社製品をフル活用しており、自動化率は当初目標の70%を超える80%を実現しました。



会社概要

商号 株式会社ダイヘン
(英文名)DAIHEN Corporation

設立 大正8年(1919年)12月1日

資本金 10,596百万円

従業員数 3,943名(連結)

本社 〒532-8512 大阪市淀川区田川2丁目1番11号
TEL(06)6301-1212(代表)

事業所・工場 十三事業所(大阪市淀川区)、六甲事業所(神戸市東灘区)、三重事業所(三重県多気町)、兼平工場(大阪市福島区)、千歳工場(北海道千歳市)

営業拠点 北海道支社、東北支社、東京支社、中部支社、中国支社、九州支社

役員

(平成29年6月28日現在)

代表取締役社長 田尻 哲也

取締役副社長執行役員 越野 滋多

取締役専務執行役員 浦井 直樹

取締役専務執行役員 加茂 和夫

取締役常務執行役員 森本 慶樹

取締役常務執行役員 蓑毛 正一郎

取締役 三條 楠夫

取締役 相京 重信

常勤監査役 森野 雄三

常勤監査役 岩佐 完治

監査役 浦田 治男

監査役 古沢 昌之

関係会社

国内

四変テック株式会社
株式会社キューヘン
中国電機製造株式会社
ダイヘン産業機器株式会社
ダイヘン電機システム株式会社
ダイヘン溶接メカトロシステム株式会社
ダイヘンヒューズ株式会社
ダイヘンスタッド株式会社
ダイヘン電設機器株式会社
株式会社南電器製作所
ダイヘンテック株式会社
株式会社ダイヘンテクノス
阪神溶接機材株式会社
ダイホク工業株式会社
ダイヘンビジネスサービス株式会社
ダイヘン物流株式会社
株式会社ダイキ
ダイヘンエンジニアリング株式会社
株式会社ダイヘン厚生事業団
大一精工株式会社

海外

DAIHEN,Inc.
OTC DAIHEN EUROPE GmbH
OTC DAIHEN Asia Co.,Ltd.
DAIHEN ELECTRIC Co.,Ltd.
OTC DAIHEN Bangkok Co.,Ltd.
DAIHEN Advanced Component,Inc.
牡丹江OTC溶接機有限公司
台湾OTC有限公司
OTC機電(上海)有限公司
DAIHEN KOREA Co.,Ltd.
OTC機電(青島)有限公司
ダイヘンOTC機電(北京)有限公司
ダイヘン精密機械(常熟)有限公司
OTC DAIHEN INDIA Pvt. Ltd.
PT.OTC DAIHEN INDONESIA
DAIHEN VARSTROJ welding cutting and robotics d.d.
DAIHEN MEXICO S.A. de C.V.

株式の状況

発行可能株式総数…………… 540,000,000株

発行済株式の総数…………… 135,516,455株

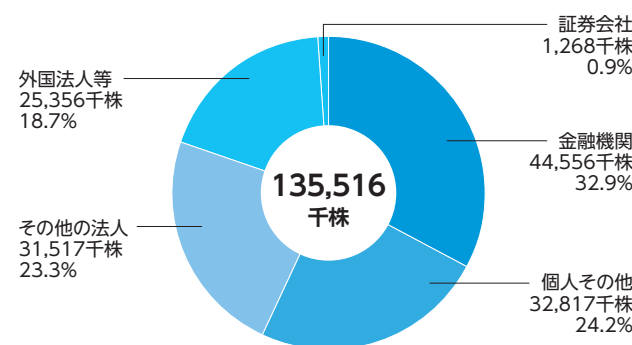
株主数…………… 8,356名

大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
関西電力株式会社	7,304	5.80
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,230	5.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,416	5.09
株式会社三井住友銀行	5,429	4.31
GOVERNMENT OF NORWAY	3,888	3.09
三井住友信託銀行株式会社	3,293	2.61
日新電機株式会社	3,204	2.54
三井住友海上火災保険株式会社	2,636	2.09
ダイヘン取引先持株会	2,535	2.01
ダイヘングループ社員持株会	2,251	1.79

(注)当社は9,553千株の自己株式を保有しておりますが、持株比率は当該自己株式を控除して計算しております。

所有者別状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部【郵便物送付先】
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部【電話照会先】
フリーダイヤル 0120-782-031【インターネット ホームページURL】
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

単元株式数 1,000株

公告方法 当社のホームページに掲載いたします。
<http://www.daihen.co.jp/gaiyou/koukoku.htm>

上場取引所 東京、福岡の各証券取引所

証券コード 6622

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様はお取引の証券会社に、証券会社に口座を開設されていない株主様は上記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届けは、上記の電話照会先をお願いいたします。